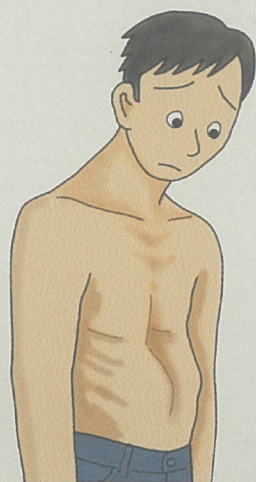


## 漏斗胸



置に残ったり、乳房にひずみや左右差が生じたりして、再び悩んで手術を検討する患者もおります。

胸の状態を確認すれば、ほぼ確定できます。CT検査を行うと、肋骨が心臓を圧迫している度合いも分かります。

肋骨の凹みを改善する効果が最も高い治療法は、「ナス(NUSS)法」と呼ばれる手術です。両脇を数センチほど切開し、湾曲したチタン製の金属バーを挿入して、体内で肋骨をブリッジさせて凹みを戻します。バーは数年後に抜きます。

ナス法は1998年に発表され、日本でも翌年、保険適用となりました。手術には1〜2週間の入院が必要で、術後3カ月〜半年

### 治療 胸にバーを入れて骨を持ち上げる

診断は？

胸の状態を確認すれば、

ほぼ確定できます。CT検査を行うと、肋骨が心臓を圧迫している度合いも分かります。

肋骨の凹みを改善する効果が最も高い治療法は、

「ナス(NUSS)法」と呼ばれる手術です。両脇を数センチほど切開し、湾曲したチタン製の金属バーを挿入して、体内で肋骨をブリッジさせて凹みを戻します。バーは数年後に抜きます。

ナス法は1998年に発表され、日本でも翌年、保険適用となりました。手術には1〜2週間の入院が必要で、術後3カ月〜半年

は運動を控える必要がありますが、それ以降はほぼ生活上の制限はありません。

手術は早く受けた方がよいのです。

大人になる前の肋骨は柔らかく、竹のようなしなりがあるので、凹みを解消しやすいといえます。とはいえ、あまりに早く行う手術は、重症者以外には勧められません。

なぜでしょう。

手術後に肋骨などが成長し、体内に入れたバーがずれたり、骨格に合わなくなったりして、体内を締め付け、凹みが再発する場合があります。

また、手術では少なからず胸を切開します。特に女性では、後に乳房となって膨らむ位置が分からぬまま切開したこと、成長後に傷跡が目立つ位置に残ったり、乳房にひずみや左右差が生じたりして、再び悩んで手術を検討する患者もおります。

## みぞおちなど"胸"が凹む

### 症状 あばら骨が変形 心臓の圧迫も

—— どのような病気なのでしょう。

肋骨(あばら骨)に起こる、先天性の変形症です。「みぞおち辺りが凹んでいる」「胸の形が左右非対称」「乳房の形に『ひずみ』がある」などの症状が現れます。

小さい頃は、外見以外で痛みなどの身体症状がない場合が多いのですが、変形を気にして外遊びがしづらく、本人の意に反して内向的な生活や性格になってしまふ、といった影響も大き



永竿教授

学校の健診などで見つかることがある「漏斗胸」。長年この病を診断・研究し、診療ガイドラインの作成統括責任者も務めた、香川大病院の永竿智久教授(形成外科)に聞きました。

### 今日のポイント 骨の矯正で治す先天的な病

く出る疾患です。体内では、凹んだ肋骨が心臓や気道を圧迫しているケースが多く見られます。変形の度合いが大きかったり、長年放置したりすると、「動悸、息切れ」「不整脈」「胸の違和感、痛み」「冷え性」など、心肺機能が低下します。

### 患者 人知れず 悩むことが多い

かっている可能性も指摘されています。

聞き慣れない病名ですが、患者は多いのです。

この病は「胸」に起こる疾患です。人知れず悩んでいる女性は多く、実際はもっと多くの方が罹患していると考えられています。

男女比も約4対1とされていますが、私どもの病院に來られる患者に、男女差はほぼありません。

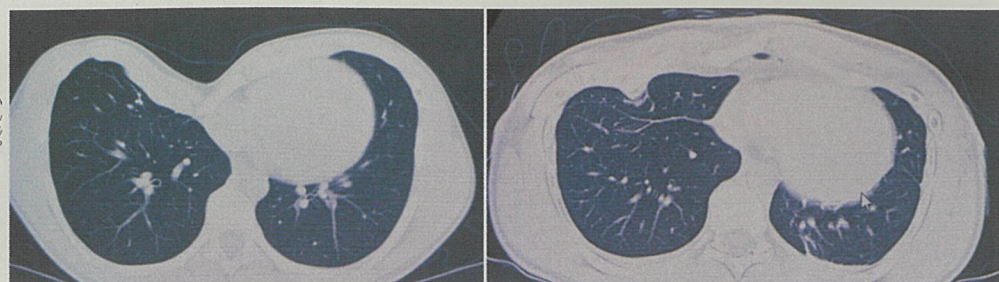
患者や患者の悩みを見聞きする機会も少なく、患者数の割に知られていない疾患です。

患です。

—— どのような方に発症しやすいのでしょうか。

根本の原因は分かっていますが、約半数は体格や骨の柔らかさ、気道の狭さといった、体質の遺伝が関係しているといわれます。

凹む箇所として圧倒的に多いのは、みぞおち周辺です。体の前方中央付近の肋骨は、子どもの頃は軟骨(肋軟骨)で、大人になるにつれて硬くなります。例えば、「肩幅が狭い段階でみぞおちの肋軟骨が成長し、横に伸びられない分、肋軟骨が凹む」といった複合的な要素も、原因として考えられています。



手術の前(画像左)と、手術後(同右)のCT画像。肋骨の凹み(上部)も、真ん中の心臓(白い部分)への圧迫も解消されている

### 注意点 矯正する対象は 乳房でなく"骨"

また、漏斗胸という病を知らない女性患者は、胸の

いった患者の声はよく聞きます。



# 病

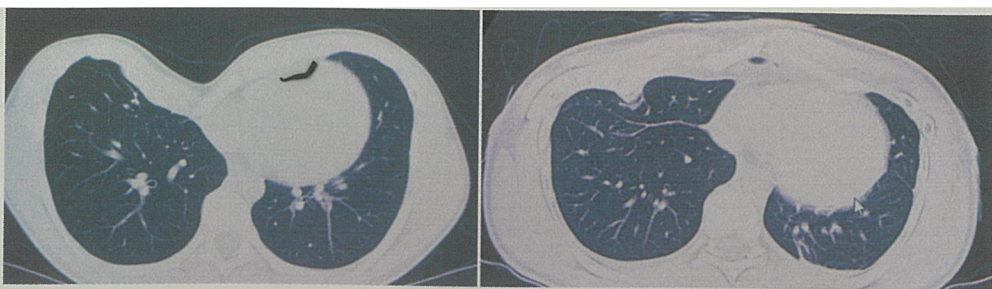


「胸」。長年この病を  
責任者も務めた、香川  
ました。

患です。

——どのような方に発症  
しやすいのでしょうか。

根本の原因は分かっている  
ませんが、約半数は体格や  
骨の柔らかさ、気道の狭さ  
といった、体質の遺伝が関  
係しているといわれます。  
凹む箇所として圧倒的に  
多いのは、みぞおち周辺で  
す。体の前方中央付近の肋  
骨は、子どもの頃は軟骨  
(肋軟骨)で、大人になる  
につれて硬くなります。例  
えば、「肩幅が狭い段階で  
みぞおちの肋軟骨が成長  
し、横に伸びられない分、  
肋軟骨が凹む」といった複  
合的な要素も、原因として  
考えられています。



手術の前(画像左)と、手術後(同右)のCT画像。肋骨の凹み(上部)も、真ん中の心臓(白い部分)への圧迫も解消されている

いった患者の声はよく聞  
きます。

## 注意点 矯正する対象は 乳房でなく「骨」

また、漏斗胸という病を  
知らない女性患者は、胸の

## メディカルトピック

### ピロリ菌で大腸がんも増加

胃がんの原因とされるピロリ菌に感染していると、大腸がんの発症や死亡が増えたとの解析結果を、米カリフォルニア大学サンディエゴ校などのチームが米医学誌に発表した。

チームは、ピロリ菌の検査を受けた約81万人の退役軍人について、陽性の人と陰性の人、除菌を受けた人

で大腸がんの発症や大腸がんによる死亡の差を比較した。

その結果、陽性の人は陰性の人と比べて発症リスクが18%、死亡リスクは12%高かった。陽性だった人のうち、除菌していない人は除菌した人と比べて発症リスクは23%、死亡リスクは40%、それぞれ高かった。

形にひずみが生じている原因が「乳房」にあると捉えています。その場合、胸の形の矯正を、豊胸などと同列の、乳房の「美容整形」と考えているため、抵抗感が大きく、受診をためらいがちです。

——美容整形であれば、保険の利かない自由診療になってしまいますね。

漏斗胸は肋骨の先天性疾患であり、原因は乳房や乳腺でなく、「骨」の変形です。手術も、患者の希望がなければ、乳房には手を加えずに肋骨を矯正します。

乳房に手を加える美容整形は、保険適用外の治療であり、肋骨は矯正しません。「胸の形」という悩みは改善が可能ですが、心臓の圧迫と、それに伴う「心身の不調」がある場合は、それを取り除けません。

胸の形は、おおむね「肋骨」と「乳房」から成り立っています。形にひずみがある場合は、どちらが原因なのか、本人が丁寧に触れば、おおよそ分かります。肋骨が原因だと思える場合は、漏斗胸の可能性を考えて、受診を検討してください。

## 特徴

目指すゴールに  
個人差がある病

——どこに受診すればよいのでしょうか。

一般的には「小児外科」「形成外科」「呼吸器外科」ですが、専門医は多くありません。漏斗胸は現在、凹

みを治しやすくなったものの、個々の症例や要望に対応した幅広い治療が求められる病でもあります。

——要望に応じた治療？患者が治療後に要望する「ゴール」は、「胸や骨の形」「傷跡の位置、大小」など、一人として同じではありません。

そしてその症状や体の特徴は、「胸の凹みや左右差の度合い」「肋骨や肋軟骨、心臓の形、大きさ」「骨の柔らかさ」「身長と胸囲のバランス」など千差万別です。年齢も考慮しつつ、手術の時期や方針、例えばナス法でも、バーをどこから、計何本入れ、どの程度湾曲させるのか、などを総合的に検討します。

幅広い要望に応えるためには、外科の手術経験や臓器に関する理解も、少なからず必要となります。また、傷跡を目立たなくしたり、女性患者の多くが求める、乳房を美しくしたりするスキルも求められます。

特に、女性にとってはデリケートな病であり、医療側は「男性の漏斗胸とは別の治療である」と思って臨むくらいの、丁寧な配慮が必要になります。

ただ、そこまでのスキルがあったり、配慮が可能だったりする医療機関が少ないのが現実です。漏斗胸に関する情報は、日本形成外科学会や香川大学病院などで公開しております。



日本形成外科学会

香川大学病院

